

平成28年4月

東京農業大学第三高等学校
東京農業大学第三高等学校附属中学校
校長 板垣啓四郎様

東京農業大学第三高等学校
東京農業大学第三高等学校附属中学校
学校評価委員会委員長 金井 正

平成27年度 「学校関係者評価」について

東京農業大学第三高等学校・同附属中学校（以下、学校という）から提示された「自己評価」等の関係書類の説明・報告を受け、学校評価委員会として、学校関係者評価を実施しました。委員会としての意見をまとめ、以下のように報告・提言いたします。

1 農大三高・三中の「学校改革」について

平成27年度は、東京農業大学第三高等学校・同附属中学校内に設置された「改革改善委員会」から提出された「答申」に基づいて教職員全体で様々な検討をし、改革プログラムが立案・実行された、との詳細な報告が学校よりありました。

- ・改革の趣旨に基づく教育プログラムの完成
- ・新コース制〔Iコース（進学重視）、IIコース（文武両道）、IIIコース（スポーツ科学）、中高一貫コース、の4コース制〕への改変
- ・各教科の指導内容の見直しと新しいシラバスの作成
- ・学力向上のための指導方法の見直し（方法としてのアクティブラーニングの採用）
- ・生徒の進路実現が積極的に図れる指導内容・方法の確立（キャリア教育を軸にした進路指導）
- ・クラブ活動の活性化の実現
- ・改革を実現していく教員の授業力向上のためのFD（Faculty Development）の実施

等々の学校方針に対して、本委員会としても理解し助言していくことを表明しました。委員会として、これからも学校改革がどのように進展していくのか注視し様々な提言をしていく所存です。

2 進路指導の充実（進路実績の向上）について

平成27年度においては、東京大学・東北大学現役合格をはじめとした国公立大合格者数の増加（27年度23名、26年度21名）、私立難関大学合格者数の増加（早慶・上智・理科大27年度31名、26年度28名）、GMARCH合格者数の増加（27年度65名、26年度53名）、等の報告がありました。

東大・東北大現役合格等は快挙ですが、これからも、一人ひとりの生徒が進路実現を図れるように、熱意を持って指導していただければと思います。

また「キャリア教育を軸にした進路指導」についても説明がありましたが、生徒の進路意識の向上・進路選択力の育成のためにも、積極的に進めてください。その際に、三高の卒業生も多くなったので、卒業生という人的資源を活用したキャリア教育ということも検討する必要があるのではないか、と思います。

3 教員の授業力向上について

先生方は、生徒による「授業アンケート」や校内実施の研究授業・授業参観、外部研修会への積極的参加を行い、さらに27年度3学期からはFDも実施して、自己研鑽に励み各自の授業力の向上に努めていると思います。これからは、常勤のみならず非常勤の先生方も含めて一層授業力・指導力の向上に取り組むようにしてください。

4 クラブ活動の活性化について

クラブ活動については、さらに活性化が望まれます。特に28年度からのコース改変の中でⅢコース（スポーツ科学）が設定され、「強化クラブ」の強化・充実を図ることを改めて学校方針としたと理解できます。そのための具体策として、選手（生徒）募集の仕方・施設面での充実（クラブによっては合宿所等）についても検討があってもよいのではないかと思います。財務的な問題もありますが、クラブ活動活性化のための学校としての具体的な検討を要望いたします。

5 生活指導について

学校から、スマホ等によるSNS（ラインなど）の問題・交通マナー（特に自転車乗車マナー）の二点について、生活指導上の問題として報告がありました。

SNSは社会的には殺人事件やいじめ問題の要因（きっかけ）にもなっており、また長時間にわたるスマホ等の使用による生活の乱れ（寝不足・学習時間がとれない）も問題です。学校としては「スマホ携帯安全教育」、担任による指導等を行っているとのことですが、さらに指導の充実が望まれます。

また、生徒の交通法令遵守・マナーの問題等に関しても、地域住民からの指摘・苦情もあるので、生徒への指導の徹底と保護者の理解が必要であると思います。学校としてさらに指導の充実を図ってください。

きちんと挨拶ができる生徒が多いことや服装の乱れがほとんどないことは、先生方の指導によるものと思います。

6 三高・三中の受験者・入学者の確保について

三高に関しては、新コース制の採用等もあり、受験者数は昨年比78名の増・入学者数は27名の増であったが、三中に関しては受験者数・入学者数とも厳しい状況があるとの報告がありました。

しかし、三中の教育内容は実学教育として他校にない特色があり、三中から進学した三高生としての中高一貫生は高校で大いに活躍し、高校の活性化に貢献していると思います。また学校からの報告による中高一貫1期生・2期生の進路実績をみる限り、東大・東北大・北海道大・群馬大学医学部医学科・早慶上智等への現役合格など、中高一貫生は実績を上げているといえます。

その点を考えると、これまで以上に、三高・三中とも学校の方針・特色・教育内容を積極的にアピールしていく必要があると思います。三高・三中とも、入学者の量と質を確保するように学校として取り組んでください。

学校評価委員会としては、学校の教育活動の充実のため、今後とも積極的に学校に提言していきたいと考えております。